

多久市立東原庵舎西溪校 学校だより

丹 邱 学 舎

「志をもち 自ら学び 共に高め合い たくましく生きぬく 西溪っ子」の育成

第9号 R5. 12. 21 発行 文責 大島和子



今日は、朝から深々と雪が降り、みるみる玄関先も雪が積もってきました。子どもたちの中には、雪だるまをもって登校したり、雪合戦をしながら登校したりする姿も見られました。前期課程の20分休みにも外に出て、雪遊びを楽しむ光景が見られました。

学校では、明日(22日)に終業式を行い、17日間の冬休みに入ります。保護者様宛に「冬休みの生活について」のプリントを配布いたしますので、冬休み中の生活についてご家庭でもお話してください。子どもたちが充実した素晴らしい冬休みを過ごし、はつらつとした心と身体で3学期を迎えられますようよろしくお願いします。

なお、子どもたちには、前期課程に「冬休みを楽しくすごそう」、後期課程に「冬休みの心得・きまり」のプリントを配布しています。あわせてご覧ください。



<雪化粧した玄関前の景色>

令和6年西溪会会長 決定!

12月6日(水)に令和6年の西溪会会長選挙が行われました。選挙前に行われた立会演説会では、3名の立候補者が堂々と自分の公約を語っていました。

5~9年生による投票の結果、K・Kさん(8年)が会長に選ばれました。K・Kさんの公約は、「学年の壁をこえ、西溪校みんなの絆が深まる学校」です。この後、執行部や各委員会の委員長が任命されます。これまでの西溪会の伝統を引き継ぎながら、公約の実現に向けてさらに活動が活性化していくことを期待しています。

寄贈いただきました。

多久町民生委員会より、論語カルタを寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。



<寄贈された論語カルタ>

※裏面に12月の表彰を掲載しています。



コスモス1・2組さんより、クリスマスプレゼントをもらいました。かわいいツリーに癒されました。